

みずほCustomer Desk Report 2022/12/29号 (As of 2022/12/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	133.95
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.51	1.0637	142.05	1.2025	0.6732
SYD-NY High	134.50	1.0675	142.94	1.2126	0.6801
SYD-NY Low	133.42	1.0607	141.99	1.2003	0.6720
NY 5:00 PM	134.49	1.0613	142.69	1.2018	0.6740
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,875.71	▲ 365.85	日本2年債	0.0400%	0.0100%
NASDAQ	10,213.29	▲ 139.94	日本10年債	0.4500%	▲0.0100%
S&P	3,783.22	▲ 46.03	米国2年債	4.3553%	▲0.0253%
日経平均	26,340.50	▲ 107.37	米国5年債	3.9723%	0.0283%
TOPIX	1,909.02	▲ 1.13	米国10年債	3.8856%	0.0387%
シカゴ日経先物	26,055.00	▲ 185.00	独10年債	2.5035%	▲0.0080%
ロンドンFT	7,497.19	24.18	英10年債	3.6500%	0.0185%
DAX	13,925.60	▲ 69.50	豪10年債	4.0650%	0.2190%
ハンセン指数	19,898.91	305.85	USDJPY 1M Vol	13.35%	0.04%
上海総合	3,087.40	▲ 8.17	USDJPY 3M Vol	12.47%	0.00%
NY金	1,815.80	▲ 7.30	USDJPY 6M Vol	11.58%	0.01%
WTI	78.96	▲ 0.57	USDJPY 1M 25RR	▲1.61%	Yen Call Over
CRB指数	277.35	▲ 1.11	EURJPY 3M Vol	11.66%	▲0.04%
ドルインデックス	104.46	0.28	EURJPY 6M Vol	11.31%	0.06%

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
12月29日	00:00	米	リッチモンド連銀製造業指数	12月	1
	00:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	11月	-4.0%
					-1.0%

【本日の予定】

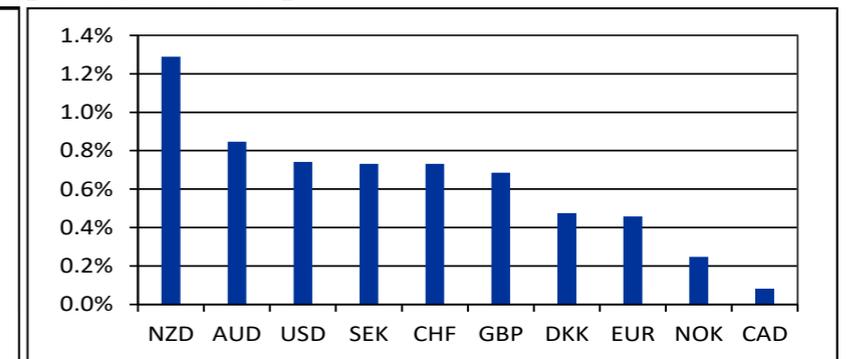
Date	Time	米	Event	予想	前回
12月29日	22:30	米	新規失業保険申請件数	24-Dec	225K
					216K

東京	東京時間のドル円は133.51レベルでオープン。スポット末日かつ年末年始休暇前で、実需のドル買いがドル円をサポート。仲値にかけて134円手前まで買われた後、133.70付近まで押し戻され、もみ合う場面もあったが、午後に入り再度上昇を開始すると134.40をつけた。終盤にかけては流動性が乏しくなる中、133.93レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.93レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ朝方134.21まで上昇する場面もあったが、米長期金利が徐々に低下する中で値を戻し133.58レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	東京時間では先週の日銀金融政策決定会合における主な意見が公表され、金融政策修正を巡り「出口に向けた変更ではない」と伝わったほか、市場では10年に加えて2年や5年債の国債買い入れオペが実施。特段サプライズではなかったものの、金融政策修正観測が剥落する中、円売りが優勢となり134.40まで上昇。しかし、欧州時間では米長期金利の低下が重しとなり、133.42まで反落。小幅反発後、133.58レベルでNYオープン。朝方は早朝に低下していた米金利の持ち直しとともにドル円は買い優勢となり134.30まで上昇。12月リッチモンド連銀製造業指数や米11月中古住宅販売仮契約指数が発表されるも市場は反応薄。その後、134.10付近まで反落するも、米金利上昇の再開を受けてじりじりと134.50まで高値を更新。結局、134.49レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは1.06レベル半ばでスタート。朝方、特段ヘッドラインは見当たらなかったが、早朝の米金利低下が嫌気されたためか、ドルが全面的に売られ、ユーロドルは一時1.0675まで上昇。しかし滞空時間は短く、その後は米金利の反転上昇とともに1.0611まで反落。午後にも上値重い推移が続き、終盤には1.0607で安値を更新し、結局、1.0613レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.20-134.70	1.0600-1.0650	141.70-143.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は上昇。月末スポット日につき実需のドル買いが続いた他、この日日銀が発表した先週の金融政策決定会合の主な意見において、YCCの変動許容幅修正は出口に向けた変更ではないとの主旨を示し、金融緩和長期継続との見方が強まる中で円売り優勢となった。ドル円は仲値にかけて早々に134円を試し仲値後に上抜けるとストップを巻き込みながら134.40まで急伸。日銀ショック後の半値戻し達成し、その後は売りに押され133.42まで下落する場面こそあるも、ロンドンフィクシングにかけてはドル買いも回帰し134円台に戻すと米長期金利上昇を眺めつつ134.50レベルまで日銀ショック後の高値を更新し、高値圏のままNY引けとなった。月末スポット日を終え、月末日の中日となる本日は昨日ほどの実需フローは見込まれず上値は限定的か。寧ろ、昨日までの上昇に乗せたロングポジション手仕舞いによる下方方向への値動きに注意したいところ。本日は主要イベント少なく基本的に動意に欠ける展開が予測されるものの、流動性の少ない中で上述フローやヘッドラインリスクによる突発的な値幅拡大に警戒。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・鈴木